**日本技術者教育認定機構**

〒108-0014　東京都港区芝　5-26-20

(建築会館4F)

電話　03-5439-5031

FAX　03-5439-5033

E-mail　accreditation@jabee.org

自 己 点 検 書

（３．添付資料編）

対応基準：日本技術者教育認定基準（2019年度～）

適用年度：2022年度

高等教育機関名

プログラム名

（希望認定種別名）

（希望認定分野名）

Program Title

審査分類：新規審査／認定継続審査／中間審査

注意： 中間審査の場合、「自己点検結果」は中間審査項目についてのみ記載する

提出日　年　　月　　　日

過去６年間の審査における審査結果

認定の可否とともに送付された審査結果のコピーを添付。前回中間審査を受けた場合は、新規審査と中間審査の両方の結果を添付する。この際、表紙も添付すること。初めて審査を受ける場合は不要。

表１　学習・教育到達目標と知識・能力観点(a)～(i)との対応

各学習・教育到達目標 〔(A)、(B)、(C) - - - 〕 が基準1.2の知識・能力観点 〔(a)～(i)〕 を主体的に含んでいる場合には◎印を、付随的に含んでいる場合には○印を記入する。

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 知識・能力　　　　観点学習・教育到達目標 | (a) | (b) | (c) | (d) | (e) | (f) | (g) | (h) | (i) |
| (A) |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| (B) |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| (C) |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| (D) |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| (E) |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| ・・・・ | ・・・・ | ・・・・ | ・・・・ | ・・・・ | ・・・・ | ・・・・ | ・・・・ | ・・・・ | ・・・・ |

：当該プログラムの学習・教育到達目標を記述する。

表２　学習・教育到達目標とその評価方法及び評価基準

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 学習・教育到達目標の大項目 | 学習・教育到達目標の小項目(注) | 関連する知識・能力観点(a)～(i)の項目 | 関連する知識・能力観点(a)～(i)との対応 | 評価方法および評価基準 |
| (A) | (A-1) | (a) | ◎ | 評価方法(A-1)・・・・・・・・で評価する。 |
| (A-2) | (a) | ○ | 評価方法(A-2)・・・・・・・・で評価する。 |
| (B) |  | (a)(b) | ◎○ | 評価方法(B)・・・・・・・・・で評価する。 |
| ・・・・ | ・・・・ | ・・・・ | ・・・・ | ・・・・ |

注：小項目の欄は、小項目がある場合記入、ない場合は空欄とする。

上記の表2を作成するためのテンプレート用共通Excelファイルを用意しているので、この共通Excelファイルを利用して作成した表を収録することを推奨する。

表３　学習・教育到達目標に対するカリキュラム設計方針の説明

|  |  |
| --- | --- |
| 学習・教育到達目標 | カリキュラム設計方針 |
| (A)○○○○ |  |
| (B)○○○○ |  |
| (C)○○○○ |  |
| (D)○○○○ |  |
| (E)○○○○ |  |

表４　学習・教育到達目標を達成するために必要な授業科目の流れ

|  |  |
| --- | --- |
| 学習・教育到達目標 | 授　　業　　科　　目　　名 |
| 1　年 | 2　年 | 3　年 | 4　年 |
| 前 期 | 後 期 | 前 期 | 後 期 | 前 期 | 後 期 | 前 期 | 後 期 |
| （A） | 授業科目Ａ授業科目Ｂ授業科目Ｃ | 授業科目Ｄ授業科目Ｅ（○） | 授業科目Ｆ（◎） | 授業科目Ｇ（○） |  | 授業科目Ｈ（◎） |  | 授業科目Ｉ（◎） |
| （B） |  |  |  | 授業科目Ｊ |  | 授業科目H（○）授業科目K（◎） | 授業科目L（◎）授業科目M |  |
| （C） | 授業科目A | 授業科目D授業科目N | 授業科目O（◎）授業科目P（◎）授業科目Q | 授業科目R（◎）授業科目S（◎）授業科目G | 授業科目T授業科目U | 授業科目V（◎） |  | 授業科目Ｗ（◎） |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |

※　修士課程プログラムの場合は1年及び2年のみ記載する。

※　学士課程と修士課程を合わせた6年間のプログラムの場合は5年及び6年（修士課程）の内容を追加した表を作成する。

※　修士論文研究等については、主要プロセス（調査計画、制作/実験、中間報告、報告書作成、報告書審査等）を記入し、関連する授業科目

　　との関連を矢印等で示す。

※　対応する学習・教育到達目標の達成に重要な位置づけにあるものに○を、特に重要な位置づけにあるものには◎を付す。

※　上図と同様の内容の情報を別の形式でまとめている場合は、それを表４として添付しても構わない。

表５　自己点検書添付資料の一覧表

（下記の番号T01、T02、T03に対する資料名は例示）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 整理番号 | 添付資料名 | 該当箇所の通しページ番号 |
| T01 | 学科案内の「育成すべき技術者像」関連部分抜粋 | P.xxx～P.xxx |
| T02 | 教育改善年次報告書（過去５年分）抜粋 | P.yyy～P.yyy |
| T03 |  |  |
| - - - - - - - - - - - -  | - - - - - - - - - - - -  |  |

表６　実地審査閲覧資料の一覧表

（下記の番号J01、J02、J03に対する資料名は例示）

- - - - - - - - - - - -

|  |  |
| --- | --- |
| 整理番号 | 実地審査閲覧資料名 |
| J01 | 卒業論文 |
| J02 | 数学の成績関連資料 |
| J03 | 物理基礎の成績関連資料 |
|  | - - - - - - - - - - - -  |

添付資料

整理番号と資料名を明記し、以下に順に収録する。